

~~「心臓マッサージ、気管内挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与等の医療行為」~~

(問3-1の差し替え)

あなたご自身が突然重い病気や不慮の事故などで、適切な医療の継続にもかかわらず、治る見込みが無く死が間近に迫っている(数日程度あるいはそれより短い期間)と告げられた場合、心肺蘇生についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 心肺蘇生措置は続けられるべきである
- 2 心肺蘇生措置はやめたほうがよい
- 3 心肺蘇生措置はやめるべきである
- 4 わからない

※ ここでいう心肺蘇生措置とは死が迫った時に行われる以下の行為を指すものとします。「心臓マッサージ、気管内挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与等の医療行為」

問3-2 あなたご自身が~~痛みを伴い、しかも~~治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 単なる延命医療であっても続けられるべきである(問4へお進みください)
- 2 単なる延命医療はやめたほうがよい(補問へお進みください)
- 3 単なる延命医療はやめるべきである(補問へお進みください)
- 4 わからない(問4へお進みください)

補問 (問3-2で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。
(○は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
- 2 単なる延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせる様な方法
- 3 ~~あらゆる苦痛から解放され安楽になるために、~~医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法
- 4 わからない

問4 あなたの担当している患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について、まずどなたに説明をしますか。（○は1つ）

- 1 患者本人に説明する
- 2 患者本人の状況を見て患者に説明するかどうか判断する
- 3 家族に説明する
- 4 患者本人、家族ともに説明しない
- 5 わからない

問5 あなたは病名や病気の見通しについて、患者や家族が納得のいく説明ができていると考えていますか。（○は1つ）

- | | | | |
|---|-----------|---|--------|
| 1 | できている | 3 | できていない |
| 2 | ある程度できている | 4 | わからない |

問6 あなたの担当している患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するに当たり、まずどなたの意見を聞かれますか。（○は1つ）

- 1 患者本人の意見を聞く
- 2 患者本人の状況を見て誰にするかを判断する
- 3 家族の意見を聞く
- 4 患者本人、家族ともに意見を聞かない
- 5 わからない

問7 あなたの担当している患者が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）場合、単なる延命だけのための医療についてどのようにお考えになりますか。（○は1つ）

- 1 単なる延命医療であっても続けられるべきである
(問8—1へお進みください)
- 2 単なる延命医療はやめたほうがよい（補問1へお進みください）
- 3 単なる延命医療はやめるべきである（補問1へお進みください）
- 4 わからない（問8—1へお進みください）

補問1 (問7で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。

(○は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
(問8-1へお進みください)
- 2 単なる延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせる様な方法
(問8-1へお進みください)
- 3 ~~あらゆる苦痛から解放され安楽になるために、~~医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法 (補問2へお進みください)
- 4 わからない (問8-1へお進みください)

補問2 (補問1で3をお選びの方に) このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要となるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも)

- 1 医学的にみて患者が不治の病に冒され、しかもその死が目前に迫っていること
- 2 患者の痛みが甚だしく、誰もがこれを見るに忍びないほどであること
- 3 患者の痛みからの解放を目的とした治療が十分なされていること
- 4 患者本人の強い要請があること
- 5 方針の決定は担当医だけではなく、複数の医師又は医療チームによってなされること
- 6 医師が十分に患者に説明して、患者が納得した後で行われること
- 7 医師の手によることを原則とし、これができない場合は世間が納得できるだけの特別な事情があること
- 8 方法が常識的にも妥当なものとして認め得るものであること
- 9 その他(具体的に)
- 10 わからない

問8-1 あなたが担当している患者が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、療養生活はどこを薦めますか。(〇は1つ)

- 1 なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院を薦める
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院を薦める
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院を薦める
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院を薦める
- 5 自宅で最期まで療養を薦める
- 6 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的な治療を薦める
- 7 老人ホームに入所を薦める
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

問8-2 自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(〇は1つ)

- 1 実現可能である(問9-1へお進みください)
- 2 実現困難である(補問へお進みください)
- 3 わからない(問9-1へお進みください)

補問 (問8-2で2をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 往診してくれるかかりつけの医師がいない
- 2 訪問看護体制が整っていない
- 3 訪問介護体制が整っていない
- 4 24時間相談にのってくれるところがない
- 5 介護してくれる家族がいない
- 6 介護してくれる家族に負担がかかる
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である
- 8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である
- 9 居住環境が整っていない
- 10 経済的に負担が大きい
- 11 その他(具体的に)

問9-1 あなたは世界保健機関（WHO）が作成した「WHO方式癌疼痛治療法」をご存じですか。（○は1つ）

- 1 あることを知っている
- 2 内容をある程度知っている
- 3 内容をよく知っている
- 4 知らない

問9-2 あなたは、モルヒネの使用にあたって、有効性と副作用について、患者にわかりやすく具体的に説明することができますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

- 1 説明できる
- 2 多少は説明できる
- 3 説明できない
- 4 その他（具体的に）
- 5 わからない

問10 あなたご自身が、遷延性意識障害持続的植物状態で治る見込みがないと診断された場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。（○は1つ）

- 1 単なる延命医療であっても続けられるべきである（問11へお進みください）
- 2 単なる延命医療はやめたほうがよい（補問へお進みください）
- 3 単なる延命医療はやめるべきである（補問へお進みください）
- 4 わからない（問11へお進みください）

※ここでいう「遷延性意識障害持続的植物状態」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

補問1 （問10で2か3をお選びの方に）この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

- 1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがないと診断されたとき
- 3 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 4 わからない

~~補問2 (問10で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)~~

- ~~1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける~~
- ~~2 一切の治療は中止してもよい~~
- ~~3 その他(具体的に)~~
- ~~4 わからない~~

問11 では、あなたの担当している患者が遷延性意識障害持続的植物状態で治る見込みがない場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 単なる延命医療であっても続けられるべきである(問12へお進みください)
- 2 単なる延命医療はやめたほうがよい(補問へお進みください)
- 3 単なる延命医療はやめるべきである(補問へお進みください)
- 4 わからない(問12へお進みください)

※ここでいう「遷延性意識障害持続的植物状態」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

補問 (問11で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

- 1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがないと診断されたとき
- 3 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 4 わからない

~~補問2 (問11で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)~~

- ~~1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける~~
- ~~2 一切の治療は中止してよい~~
- ~~3 その他(具体的に)~~
- ~~4 わからない~~

~~補問3 (問1 1-2で1をお選びの方に) 続ける必要があるとお考えになる医療はどれですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)~~

1	経管栄養(胃ろうを含む)	10	抗生物質の投与
2	点滴(維持輸液)	11	輸血
3	中心静脈経路の高カロリー輸液	12	全身清拭
4	自動血圧計による血圧監視	13	喀痰吸引
5	心電図モニター	14	留置カテーテル導尿
6	気管切開	15	眼の乾燥防止
7	心臓マッサージ	16	酸素吸入
8	昇圧剤の投与	17	その他(具体的に)
9	床ずれの手当	18	わからない

問12 あなた自身が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。(〇は1つ)

- 1 単なる延命医療であっても続けられるべきである(問13へお進みください)
- 2 単なる延命医療はやめたほうがよい(補問へお進みください)
- 3 単なる延命医療はやめるべきである(補問へお進みください)
- 4 わからない(問13へお進みください)

補問 (問12で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- 1 意識不明の状態となり、そこから回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 3 わからない

問13 あなた自身が高齢となり、脳血管障害や認知症痴呆等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された場合、どこで最期まで療養したいですか。

1	自宅(補問1へお進みください)
2	一般の急性期病院(補問2へお進みください)
3	介護療養型医療施設、又は長期療養を目的とした病院 (補問2へお進みください)
4	介護老人保健施設(補問2へお進みください)
5	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)(補問2へお進みください)
6	その他(具体的に) (補問2へお進みください)
7	わからない(補問2へお進みください)

補問1 (問13で1をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いませんか。
(〇はいくつでも)

- 1 住み慣れた場所で最期を迎えたいので
- 2 最期まで自分の好きなように過ごしたいので
- 3 家族との時間を多くしたいので
- 4 家族に看取られて最期を迎えたいので
- 5 病院では自分の望むような状態で死ねないので
- 6 家族や知人が自宅で最期を迎えたので
- 7 その他

補問2 (問13で2, 3, 4, 5をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

- 1 自宅では家族の介護などの負担が大きいから
- 2 自宅ではかかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため
- 3 自宅では訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- 4 ~~3~~ 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないため
- 5 ~~4~~ 自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから
- 6 ~~5~~ 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから
- 7 ~~6~~ 自宅では、緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから
- 8 ~~7~~ 自宅での療養について、家族が希望しないから
- 9 ~~8~~ それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員などのもとで最期までみてほしいから
- 10 ~~9~~ わからない

~~補問3 (問10で2, 3, 4, 5をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅で最期まで療養するのは、困難だと思ったのですか。(〇はいくつでも)~~

- ~~1 往診してくれる医師がいないから~~
- ~~2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから~~
- ~~3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていないから~~
- ~~4 24時間相談にのってくれるところがないから~~
- ~~5 介護してくれる家族がいないから~~
- ~~6 自宅では、緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから~~
- ~~7 居住環境が整っていないから~~
- ~~8 経済的に負担が大きいから~~
- ~~9 自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないから~~
- ~~10 自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから~~
- ~~11 わからない~~
- ~~12 その他(具体的に)~~